

～「広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会の取組について」～

広島市環境局業務部業務第一課 指導担当課長 林 篤嗣

1 広島市のごみの現状

(1) ごみ排出量の推移

広島市のごみ排出量は、昭和50年代は年間30万トン前後で推移していたが、生産、消費の拡大や消費者意識の変化等により、昭和60年度から増加傾向に転じ、平成12年度には49万トンに達したため、平成14年度に「広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会」の前身である「広島市買い物袋持参デー実行委員会」を設立するほか、8種類分別収集の導入など様々な取組により、平成22年度には36万トンまで減少することができた。

しかしながら、平成23年度以降、ごみ排出量は微増傾向にあり、特に事業ごみが増えつつある。

(2) 可燃ごみの組成

平成27年度の家庭ごみ及び事業ごみの可燃ごみ組成分析によると、生ごみのうち、手つかず食品や食べ残しなどの食品ロスが、家庭ごみでは8.3%の年間約1万2千トン、事業ごみでは15.5%の年間約2万2千トンが含まれており、この食品ロスを減らしていくことが課題となっている。

2 広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会の取組

「広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会」は、市民・事業者・行政が一体となって広島市のごみの課題に取り組んでおり、市民団体、スーパーマーケットや百貨店などの小売店等、新たに飲食業とホテル・旅館業の関係団体に加入いただき、広島市を含めて、現在28団体で構成している。

主な取組は、以下のとおりである。

(1) 食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」

ア 啓発チラシ「週に一度は冷蔵庫の整理・整頓」を各戸配布

イ 飲食店、ホテル旅館等の「食べ残しゼロ推進協力店」と、食品を取り扱う小売店の「食品ロス削減協力店」を募集・登録し、広島市ホームページ等でPRを実施

ウ 毎月1日の「ごみ減らそうデー」で、スーパーマーケットの買い物客に対し、買い物袋の持参や買い物時と料理時での食品ロス削減の取組を啓発

エ エコクッキングレシピを中心に、野菜等の葉、皮、茎や魚の骨などを活用する料理や、冷蔵庫に眠る余りものを活用した料理などを実習をまじえて紹介する「エコクッキング教室」を開催

オ ミミズコンポスト、EM密閉容器コンポスト、ダンボールコンポストの3種類の「生ごみリサイクル講習会」を開催

カ 家庭で眠っている食品を持ち寄ってもらい、フードバンクを通じて、地域の福祉団体や福祉施設に寄付する「フードドライブ」を環境イベント等で実施

(2) 店頭回収店舗の情報提供

広島市ホームページで、スーパーマーケット等の店頭回収店舗と回収品目を情報提供している。

3 1人1日当たりのごみ排出量（政令指定都市）

環境省が公表している最新データは平成26年度で、広島市の1人1日当たりのごみ排出量は、856グラムとなっており、平成17年度から10年連続で、政令指定都市の中で最少という状況を維持している。

これは、8種類分別や食品ロス削減など、市民皆様方のごみ減量・リサイクルに関する取組のおかげであり、今後も皆様方のご協力をお願いしたい。